

関東支部主催 体験セミナー

実習でわかる混色の原理と実際 — 第1回 混色の基礎とLED 混色キットの工作など—

中島 由貴 (支部幹事 / 女子美術大学大学院)

2020年1月18日(土)に、早稲田大学(早稲田キャンパス)にて関東支部主催の「体験セミナー：実習でわかる混色の原理と実際」の第1回目「混色の基礎とLED混色キットの工作など」が開催されました。

本セミナーは、混色についての実演を含むレクチャーと、混色キットの工作などの実習を通して、その原理と実際についての理解を深める、わかりやすく楽しい講座として2回にわたり企画されたものです。

この日の東京はあいにくの雨で昼頃には雪もちらつく悪天候でしたが、定員30名に対して44名の参加者が集う寒の雨にも負けない活気に溢れたセミナーとなりました。

① 混色原理—レクチャーと測色実演—

(1) 10:30~12:00, (2) 13:00~14:00

小林 信治 氏 (日本色彩研究所)

小林氏からは混色について前半に(1)原理のレクチャーを、後半に(2)測色実演を行っていただきました。

前半のレクチャーでは、加法混色、継時混色、並置混色、減法混色と様々な混色の原理を身近な例と豊富な画像を用いてご説明いただきました。後半の測色実演では、RGBの加法混色、CMYKの減法混色を会場で模擬的に再現いただき、各色を測定(色彩輝度計使用)した後、xy色度図へプロットする作業や輝度値の棒グラフ作成を手書きで行いました。

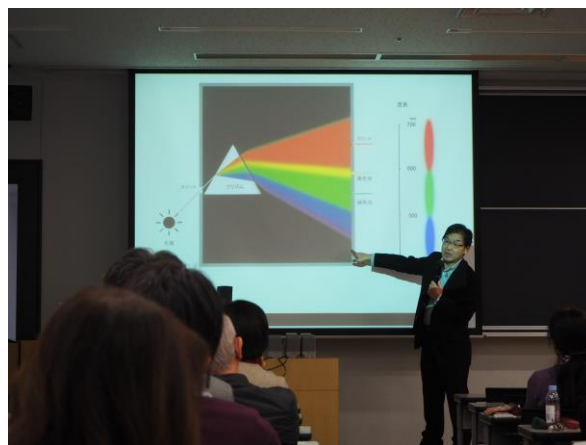
座学と実演、目視と測色値から加法混色と減法混色の違いを体験・理解でき、参加者からは実際に現象を目で見て手を動かし作業することで、より理解が深まったと好評いただきました。

② LED混色キット『カラーミキサ』の工作【工作実習】

14:10~15:30

中楯 末三 氏 (東京工芸大学名誉教授)

中楯氏からは、LED混色キット『カラーミキサ』の工作をレクチャーいただきました。『カラーミキサ』は



分光, 加法混色について



減法混色について

小林氏の解説

東京工芸大学が色彩教育のために作成したキットで、楽しみながら混色の仕組みを学ぶことができます。

まずは3色のLED (RGB), 抵抗, ケーブルなどのパーツを基盤に取り付け、LEDを点灯させます。行灯となる箱型のスクリーンを作成し、さらに上部にマスクを設置して完成です。『カラーミキサ』の特徴は、上部に設置したマスクのパターンを変えることにより加法混色、疑似減法混色を体験できること。約1時間20分の工作の後、完成品を前にそれぞれの席から驚きの声と歓声が上がっていました。

③ 混色絵本の色々ご紹介

15:40~16:30

名取 和幸 氏（日本色彩研究所）

名取氏からは、混色を題材にした国内外の絵本を紹介いただきました。

最初に紹介されたのは、イタリアの絵本「楽しい混色」、
「怖い混色」。どちらもデザイン性が高いのはもちろんのこと、哲学的な意味合いや教訓が含まれており、大人が読んでも気づきのある絵本だと感じました。また、イギリスの絵本「アメイジングブック COLOURS:いろ」にはカラーフィルムとページのページがあり、フィルムをイラストに重ねることによって減法混色が楽しめます。日本と外国の絵本の違いも紹介され、世界の児童に対する色彩教育の違いも感じられる機会となりました。

講演で紹介された絵本は会場の一部に展示され、手に取り見ることができました。コレクションの中には普段なかなかお目にかかれない絵本も多く、講演が終わった後も展示スペースは賑わいを見せていました。

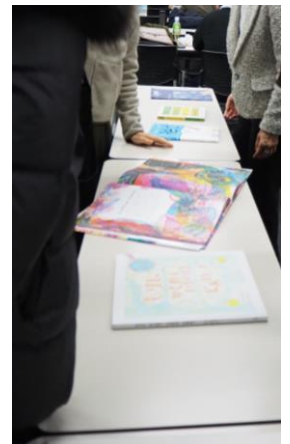
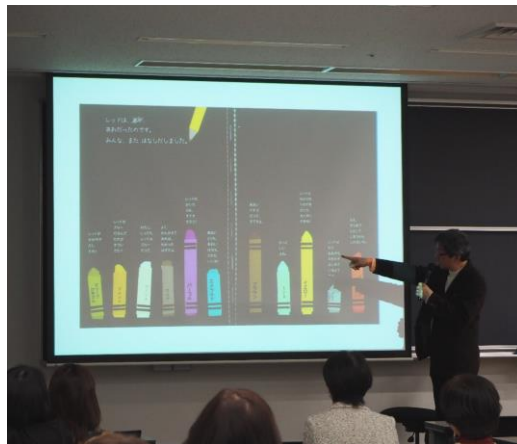
・・・第2回「混色の実際と減法混色キューブの制作など」に続きます。



中楯氏の解説



工作実習の様子『カラーミキサ』



名取氏の解説(左, 中央)と絵本の展示風景(右)